

# マツカサガイ

*Inversidens japonensis* (Lea)

## イシガイ目イシガイ科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー 準絶滅危惧

### 選定理由

石川県内では溜池やその下流部の水路に生息するが、寄主である淡水魚類の消失も含めて生息環境が悪化しているため。

### 形態

殻は卵円形で、殻長は最大で90mmに達する。殻表には逆V字型の模様があり、後背縁の放射状の模様は顕著に発達する。

### 国内分布

本州、四国、九州。

### 県内分布

加賀市、小松市、金沢市、宝達志水町、羽咋市、志賀町（富来地区）、七尾市（中島地区）。津幡町からも死殻が得られている。

### 生態

小川や水路の砂礫底に生息。溜池内にも生息する例がある。丘陵地の溜池下の水路に多産することがある。

### 生息地の条件

生貝が潜る砂泥底と幼生が寄生する魚類（ハゼ類など）の存在が条件。

### 生存の危機

水路の改修工事による砂泥底の消失。外来魚の侵入により幼生の寄主となる魚類がいなくなること。また溜池の放棄による影響も大きいと考えられる。（A, B, C）

### 特記事項

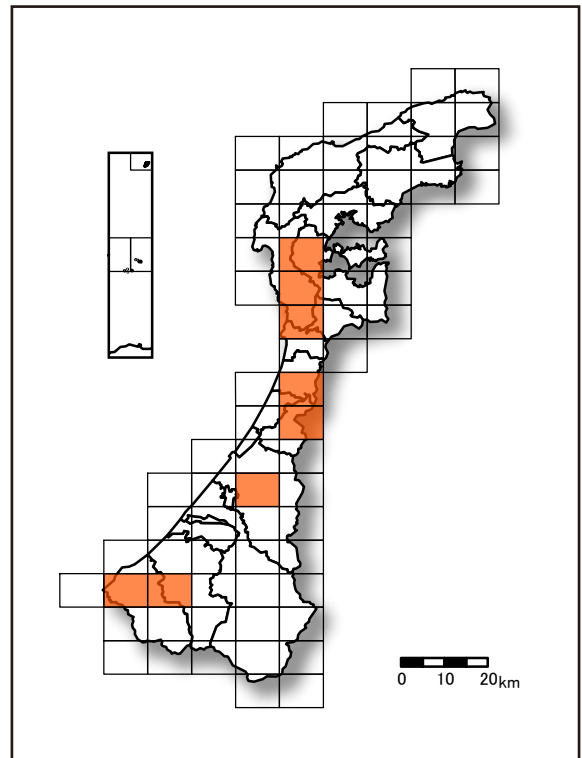
類似のヨコハマシジラガイは殻頂付近に顆粒状の模様があり、後背縁の放射状模様は不明瞭とされるが、殻の表面が摩耗した個体では区別が困難なことがある。

### 参考文献

近藤高貴 2005. マツカサガイ. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 6 陸・淡水産貝類: 355.  
増田修・内山りゅう 2004. 日本産淡水貝類図鑑②汽水域を含む全国の淡水貝類. 240pp. ピーシーズ.  
東京.



写真提供者: 石原一彦



県内の分布